



ふれ愛あなたと笑顔で

わかがえる

若 蛙

No.105 2024 春号

令和6年4月1日(月)発行

高齢者総合福祉施設
ウィローふたば広報委員会

瀬戸市西山町1丁目46の18
TEL0561-87-4128(代) FAX0561-87-4129

共にがんばります!!



CONTENTS

- 2P 特養・ショートステイ
幸せメニュー・節分
- 3P デイサービスセンター
節分 料理を作ろう!
- 4P ふたば庵
- 5P 思い出いっぱいありがとう
- 6P ケアハウス
お正月リース作り 初詣IN渋川神社
- 7P 地域包括支援センター
地域ケア会議 災害派遣福祉チームADWAT
- 8P 新人紹介 ちょっと聞いて私の習い事
共に学び共に成長する

new comer!

共に支え 共に笑い 共に幸せを

ご挨拶

施設長 加藤倫好

いつも皆様方のご支援、誠にありがとうございます。新年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

さて2024年4月、3年ごとに見直される介護保険が改定されました。今回は、いわゆる「2025年問題」を視野に入れた改定と言えます。

基本的な視点としては、4点あります。①地域包括ケアシステムの深化・推進②自立支援・重度化防止に向けた対応③良質なサービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり④制度の安定性・持続可能性の確保です。

①は、地域包括ケアシステムをさらに発展させ、質の高いサービスの切れ目ない提供を目指すことです。②は、介護の数値化・データ化とその活用を通して、他職種協働での自立支援を目指すことです。③は、介護職員等への処遇改善やICTの活用で職場環境の改善を目指すことです。④は、全世代が安心して利用できるような給付と負担のバランスを整え、制度の持続を目指すものです。

約3年に及ぶコロナ禍や物価高の影響で、基本的に報酬や利用料は上がりますが、当施設では前述の視点を踏まえ、さらなるサービスの向上に取り組んでいるところです。しかし、大切なのは「人」だと思っています。職員一人ひとりがプロフェッショナルとしての技能と人格を磨き、学び続けることが質の向上に繋がります。そのためには人材育成や学ぶ社風づくりが必要ですが、まずは私自身が自己研鑽に励み、「人」を大切にしたい運営を心掛けたいと思います。

人口構造、家庭・養育環境、あるいはデジタル技術の進歩や、多様性社会に伴う価値観等、介護を取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。様々な課題はありますが、「人」を大事に「一緒にいて居心地が良い」「この人になら安心して任せられる」「やっぱり介護と言えば、ウィローふたばだね」という皆様に仰っていただけるよう、頑張つて参りたいと思います。

*2025年問題とは、人口数の多い団塊世代(1947年～1949年生まれ)が全て75歳以上の後期高齢者となることで、社会保障費の増大や介護人材の不足などが懸念されていることを指します。
*ICTとは情報通信技術のことで、インターネットやスマートフォン等を活用したコミュニケーションを指します。

幸せメニュー♡

喜んで頂きました

お肉好きなKさん。普段よく会話の中で「お肉が食べたい」と言われていました。しかし、嚥下機能の低下により、普通の食形態を食べる事が難しく、本人も半分諦めていらっしゃいました。そこで今回、「お肉が食べたい」という想いを形にしてみました。ご家族に協力していただき、やわらかいお肉でKさんが好きそうな『豚の角煮』を提供することに。管理栄養士の協力のもと、フードプロセッサーなどを使用し、様々な工程を経て、のど越しが良い状態に仕上げ完成！ぺろりと全て完食され、嬉しそうなお表情が見られてとても嬉しく思いました。日常の中にある『希望』を大切にしたいと思える日となりました。

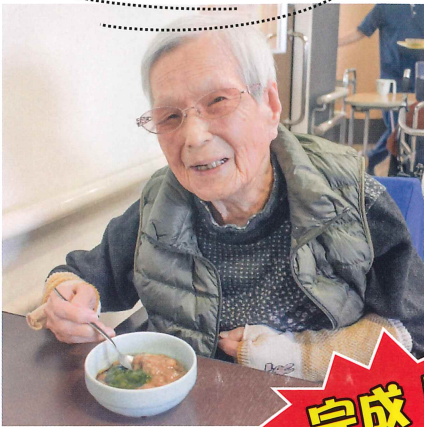


point1

お肉の食感を
味わえるように
細かくし過ぎない



完成!



point3

歯くきごつぶせる
硬さに整える



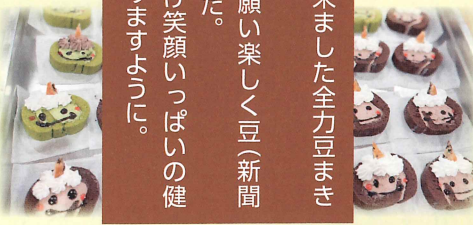
point2

煮汁を利用して
パサつきを軽減

2月2日(金)

節分

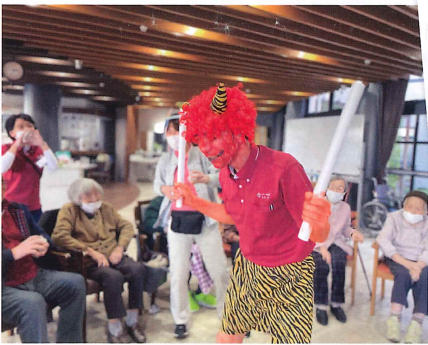
さあやって来ました全力豆まきタイム！
無病息災を願い楽しく豆新聞紙をまきました。
病気を遠ざけ笑顔いっぱい健康な一年になりますように。



節分

2月2日(金)

「鬼は外！福は内！」
襲い掛かる赤鬼と青鬼に、新聞紙で作った玉を豆に見立て、それを投げて鬼を撃退。
ん？どこかで見たとの
ある鬼とお福さん？
それでも皆様は鬼たちをやっつけようと
会場は熱気に包まれ、
興奮冷めやらぬ様子
でした。



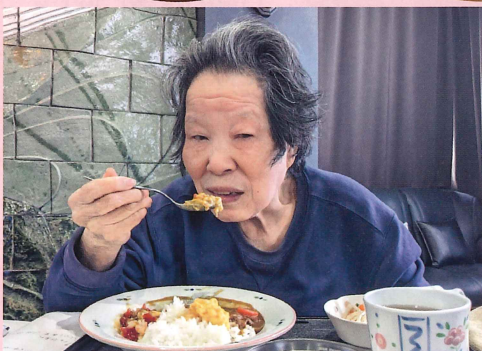
メニュー

- ・カレーライス
- ・切り干し大根サラダ
- ・果物入ヨーグルト

大好評の
カレーライス！
今回は、なんとチーズ入
りスクランブルエッグ
をのせてみました！

2月9日(金)

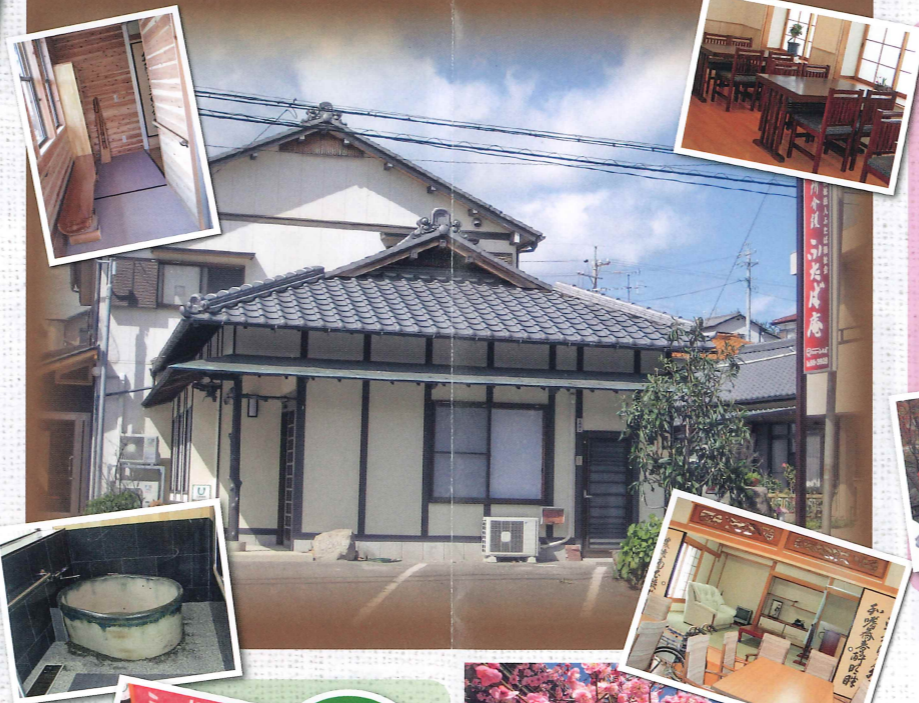
料理を 作ろう！



ふたば庵

思い出いっぱいありがとう

通所介護ふたば庵は平成19年5月に開設し、約17年、多くの皆様にご愛顧いただきました。しかし、諸般の事情により、令和6年3月31日をもって営業を終了することとなりました。通所介護ふたば庵では、毎朝四季を感じながら近隣を散策し、実践的な歩行訓練に力を入れてきました。他にも、瀬戸物でできたお風呂で疲れた体を癒していたり、美味しい食事で元気になっていたりと、様々なプログラムを実施してきました。また、水南公民館祭りへの出店や、水南保育園とも交流会を行うなどしました。そしてふたば庵祭りを開催し、地域密着型サービスとして、地域に根差した取り組みに努めて参りました。



管理者 瀧本 誠

私は4年間、通所介護ふたば庵の管理者を務めさせていただきました。新型コロナウイルス感染症の影響も受けながら施設運営に取り組んできました。コロナ禍においては、三密を避けつつもご利用者楽しんでいただける活動を企画し、様々なチャレンジをしました。

通所介護ふたば庵で得た経験はかけがえのない私の財産であり、今後もウィローふたばで生かしていきたいと思えます。最後にご利用者、ご家族、関係者の皆様の、温かいご支援に心から感謝申し上げます。



おやつ作り



相談員 中島 真希

相談員として、ご家族はじめ多くの方と接する機会がありました。至らぬ点も多々あったかと思いますが、沢山の方との出会いが、自信へと繋がり、今後の糧となりました。皆様と同じ時間を共有できたこと、本当に嬉しく思います。ありがとうございました。



お出かけ



看護師 木下 和子

ふたば庵は私にとって前向きな気持ちで仕事に打ち込める職場でした。看護師としてご利用者と体調や生活について話したことも、特別な思い出です。ふたば庵で出会えた皆様に心から感謝しています。ありがとうございました。



旬の味覚



介護員 猪野 太一

ふたば庵では、多くのご利用者やご家族とお会いすることが出来ました。営業終了は大変寂しく、残念ではありますが、ふたば庵最後の職員として働くことが出来たことを誇りに思います。そして皆様との出会いに感謝です。ありがとうございました。

利用者作品



介護員 横井 久美子

ご利用者と一緒に、体操やレクリエーションを行い、皆様から元気を忘れず、これからも笑顔と元気を届けられるよう頑張ります。ありがとうございました。



日常



介護員 竹内 三津子

ふたば庵では10年余り、いろいろな経験をさせていただきました。ご利用者から「おいしい風呂だね」としても食事が美味しいよ。皆やさしい職員さん」と喜んでもらい私は幸せな日々でした。ふたば庵がなくなってしまう事は残念ですが、皆様お元気にお過ごしください。ありがとうございました。



介護員 伴 恵美

ふたば庵最高！ご利用者は温かく、職員はパーフェクト集団！そしてご飯が美味しい！！全然仕事を覚えられず凹む毎日でしたが、いつの間にか足取り軽く出勤していました。一年間だけでしたが、最後のふたば庵に携わる事ができ幸せです。ありがとうございました。



地域交流会



介護員 江端 晴美

ふたば庵は、忘れられない思い出がいっぱいあります。皆様との別れはとても悲しいですが、今まで大変お世話になり本当にありがとうございました。この節目を新たなスタートだと思い、一生懸命頑張っ



夏祭り

お正月 リース作り

12月19日(火)

ケアハウスの皆様とお正月リース作り
に挑戦。
自分で好きな飾りを選び、グルーガンで
土台目掛けて狙い撃ち♡
完成したオリジナルリースをお部屋の
前に飾り、皆様無事新年を迎えることがで
きました。



初詣 澁川神社

1月5日(金)・9日(火)

尾張旭市にある澁川神社へ初詣。
入居者の皆様は今年1年の健康を願うと
ともに、それぞれの思いを込めて参拝され
ていました。
今年も皆様にとって素敵な1年になりま
すように☆



地域包括支援センター

地域ケア会議！

1月23日(火)

皆様は「8050問題」をご存知ですか？この問題は、80代の親が自宅にひきこもる50代の子どもを支え、経済的にも精神的にも行き詰まり、社会から孤立した状態に陥ることを指します。このような世帯へどのように支援していったら良いのか、親の介護のみならず、子どもへの自立支援も必要となり、大きな社会問題となっています。

会議には民生委員の方はじめ、市の高齢者福祉課、社会福祉協議会、基幹型地域包括支援センターの皆様に参加いただき、当包括が担当する8050世帯への支援方法や課題を議論しました。

「8050問題」を解決することは容易ではありません。しかし、できる限り早い時期から介入することで、問題の悪化、複雑化を防ぐことができると考えています。そのためには、地域全体のつながりの強化や、親世代が安心して相談できる環境作り、多方面の専門機関が横断的に支援をつないでいく体制作りが必要です。今回の地域ケア会議では、関係者が課題を共有し、問題解決に向けた方向性を確認し合うことができました。

ふたば地域包括支援センターでは、今後も地域ケア会議を通じて様々な課題と向き合い、地域の福祉向上に貢献していきたいと思います。皆様のまわりで高齢者に関する心配事などがありましたら、お気軽にご相談ください。



全国老人福祉施設協議会



災害派遣福祉チーム DWAT



元日に発生した能登半島地震におきまして、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。多くの尊い命や暮らしが奪われ、未だ日常を取り戻せず、言葉に尽くせない苦しみと悲しみの日々と存じます。そして我々の仲間である被災各県の介護施設におきましても、やはり甚大な被害を受けておりました。

このような深刻な事態を乗り越えるため、老人福祉施設協議会(全国老協協)では、被災された介護施設に対して災害派遣福祉チームDWATを派遣し、人的支援、物的支援を行っています。

当施設からも2名の介護職員が、1月26日(金)～30日(火)までの短期間ではありましたが、石川県内の特別養護老人ホームに応援に赴きました。

現地の皆様の勇気に敬意を表しますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

新人紹介

- ① 出身地 ② 血液型 ③ 趣味や特技 ④ 長所 ⑤ 座右の銘
⑥ 尊敬する人(理由もあれば) ⑦ この仕事を選んだ理由
⑧ 抱負



さかもと だいき
坂本 大樹

- ① 尾張旭市 ② O型
③ 音楽鑑賞・歌・ピアノ

④ 何でもよく食べる ⑤ 置かれた場所で咲きなさい
⑥ 明石家さんまさん
誰にでも優しく、謙虚で機転が利くところ。

⑦ 私は祖父母の事が大好きで、小さい頃から良くしてもらっていた事もあり、「今度は自分がお年寄りの力になりたい」と考えたからです。

⑧ 仕事を通して、ご利用者や職員の方々にも、色々な事で頼られる存在になれるよう、一生懸命がんばります。



ちはら だいき
茅原 大樹

- ① 瀬戸市 ② A型
③ 書道 カラオケ 美容

④ じっくりと分析して努力を継続できる

⑤ 落ちこぼれだつて必死で努力すりやエリートを超えることがあるかもよ

⑥ 塾の先生

⑦ 経験豊富な方で何歳になつても向上心を持って、勉強や新しい事にチャレンジし続けている所。

⑧ 塾の先生は、私の性格や強みを見て福祉の道に導いてくださいました。その中で、この仕事を選んだ理由は、私は対人関係が苦手、空気が読めなかつたり思ったことをすぐ言ってしまうたり、上手く人間関係を築けません。なので、今まで人をずっと避けて生きてきました。しかし、その苦手をあえて仕事にすることで何か転機になるのではないかと考えました。自分の立場をわきまえた行動を心がけ、低姿勢で素直に学び、



やすい ゆうな
安井 優奈

- ① 瀬戸市 ② A型
③ 歌・ダンス・ソフトテニス

④ 気遣いができる所 ⑤ 失敗は成功のもと

⑥ 母親

⑦ 人や社会の役に立ちたいからです。

⑧ 緊急時に落ち着いて状況把握し、正確に上司、先輩に報告できるようにする。

leisure time ちよつと聞いて 私の習い事!



えはた はるみ
江端晴美

私は還暦を過ぎてから、友人の勧めでフラダンスと、和太鼓という2つの習い事を始めました。

最初はすぐに飽きてしまふかもと思いましたが、色々なアドバイスをくれる仲間のおかげで、フラダンスは2年、和太鼓は1年続けています。今では、フェスティバルに出演してフラダンスを披露したり、先日は和太鼓検定試験に合格することが出来ました。ダンスや音楽が人の心に感動を与えてくれることを実感しています。やりがいもあり、今では習いに行くことが楽しくなりました。いっつになつても、チャレンジする気持ちが大事なんですね。

これからもさらなる上達を目指し、努力を惜しまず全力で頑張ります。

共に学び共に 成長する



令和4年8月から、名古屋福祉専門学校の渡邊隆夫先生を講師に迎え、職員研修を開催しています。渡邊先生の講義は先生の経験に基づくものが多く、職員から分かりやすいと好評を得ています。

1月24日に実施された「認知症ケア」研修では、環境整備の重要性について学びました。認知症の方は環境からの情報により安心感を得ることで、落ち着いて過ごせる事があります。その為には、日常の情報を視覚的に提供することが重要です。具体的には、カレンダーや時計、季節に合った飾りなどを活用し、視覚的な情報を提供していくことが大切である事を学びました。参加した職員からは「新たな視点を得ることで認知症ケアに対する理解が深まりました」と感想を聞く事ができました。今後ともウィローふたばでは、職員の資質向上を目指し、学びを続けてまいります。



渡邊隆夫先生



編集後記

春が来て、新年度も始まりましたね!さて、大谷翔平選手がロサンゼルスドジャースに移籍し、さらなる活躍を楽しみにしている人も多いのではないのでしょうか。私も、そして小学生のわが子たちも、大谷選手から夢や勇気をもらっています。私たちが皆さんへ元気を届けられるよう頑張っていきます!

Instagram更新中!施設の様子を見て頂けます!

Instagram